

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月26日

上場会社名 JFEコンテナ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5907 URL http://www.jfecon.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小野 定男
 問合せ先責任者 (役職名)企画部長 (氏名)村上 伸二 (TEL)03(5281)8514
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,799	△8.2	1,336	18.6	1,365	19.2	886	17.8
28年3月期第2四半期	13,946	△0.3	1,126	27.0	1,145	33.5	752	△8.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △331百万円(△134.0%) 28年3月期第2四半期 974百万円(197.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	30.95	—
28年3月期第2四半期	26.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	33,954	23,755	65.8
28年3月期	34,861	24,257	64.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 22,334百万円 28年3月期 22,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	△4.2	2,500	△2.8	2,500	△3.3	1,600	△2.0	55.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	28,675,000株	28年3月期	28,675,000株
29年3月期2Q	35,496株	28年3月期	35,496株
29年3月期2Q	28,639,504株	28年3月期2Q	28,639,840株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①わが国経済および産業用容器業界の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、力強さを欠くものの緩やかな持ち直し基調にあります。ただし足元では製造業は熊本地震の影響一巡から自動車分野が改善した一方、円高による輸出低迷などを受けて、在庫調整が遅れる一般機械では悪化しております。また、非製造業は公共事業や再開発事業を背景に建設関連は堅調な一方、内需の低迷が長期化するなか、物流、情報通信分野は悪化しております。

当社グループの事業分野である産業用容器業界におきましては、主要需要家である化学・石油業界が、引き続き設備の統廃合や一部停止など国内事業の構造改革を進めております。このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の全国の200リットル新缶ドラムの販売数量は、前年同期0.8%減の6,488千缶となりました。出荷の8割を占める化学業界向けは減少しましたが、堅調な建築関連に支えられた塗料業界向けを中心に、石油・食品業界向けの増加で、全体では微減となりました。

②当社グループの状況

このような需要環境の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高127億99百万円（前年同期比8.2%減）、営業利益13億36百万円（同18.6%増）、経常利益13億65百万円（同19.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億86百万円（同17.8%増）となりました。

売上高は、前年同期に対し国内・中国でのドラム缶販売価格の低下に加え、中国事業の売上高が元安による為替差で大きく落ち込んだため減収となりました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、国内ドラム缶販売数量の回復と徹底したコストダウンにより増益となりました。なお、当期は特別損失として、中国で発生した火災による災害損失を23百万円計上しております。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

〔ドラム缶事業〕

当第2四半期連結累計期間の当社グループのドラム缶販売数量は、国内2,450千缶（前年同期比5.5%増）、中国2,123千缶（同0.6%減）、合計4,573千缶（同2.6%増）となり、売上高は126億24百万円（同8.8%減）、経常利益は14億4百万円（同13.0%増）となりました。

国内ドラム缶事業は、昨年度の販売数量減少から回復したものの、販売価格の低下により売上高は前年同期横ばいとなりました。損益は販売数量の回復に加え、品種構成の改善や生産性向上、固定費を中心とした工場コストダウン、管理経費の削減等を行った結果、増益となりました。

中国ドラム缶事業は、中国経済減速による販売数量減少と鋼材価格の急騰および、元安による為替差影響により減収減益となりました。グループ全体のドラム缶販売数量に占める中国の比率は46.4%（前年同期47.9%）となりました。

〔高圧ガス容器事業〕

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1億74百万円（前年同期比69.5%増）、経常損益は64百万円の損失（前年同期は73百万円の損失）となりました。CNGV関連事業につきましては、国内は15年載せ替え需要を捉えた販売が順調に推移しておりますが、タイ事業は、原油価格の下落によるCNGVのガソリン車およびディーゼル車に対する経済優位性の低下および経済不振によるCNGV販売が落ち込んだままであり、厳しい収益状況が続いています。医療用酸素容器につきましては、国内での高齢化と在宅医療の拡大に伴う需要増に対応した生産能力向上対策を実施し、着実に数量を伸ばしております。また、燃料電池自動車に関しましては、NEDOの「水素利用技術研究開発事業」として水素ガスステーション用蓄圧容器の開発を行っております。2018年度までに水素ガスステーションへの設置を目指して順調に進展しております。

天然ガス自動車用高圧ガス容器、医療用酸素容器、高圧水素ガス容器それぞれのビジネスチャンスを的確に捉え、早期の黒字化を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末比9億6百万円減少の339億54百万円となりました。主な要因は国内ドラム缶の販売価格低下に伴う売掛金の減少によるものです。

一方負債の部は、前連結会計年度末比4億5百万円減少の101億99百万円となりました。主な要因は未払金の減少、借入金の返済による減少です。

純資産合計は前連結会計年度末比5億1百万円減少の237億55百万円となりました。主な要因は、中国元安による為替換算調整勘定の減少及び、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年7月27日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,021,966	1,077,387
預け金	2,166,100	3,308,300
受取手形及び売掛金	10,674,375	9,778,601
商品及び製品	228,016	202,468
仕掛品	120,844	118,077
原材料及び貯蔵品	1,583,124	1,698,292
繰延税金資産	190,357	189,922
その他	400,224	356,821
貸倒引当金	△15,340	△8,858
流動資産合計	16,369,670	16,721,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,746,706	2,420,672
機械装置及び運搬具(純額)	6,303,031	5,432,232
土地	6,482,535	6,482,535
建設仮勘定	30,330	73,107
その他(純額)	132,243	115,969
有形固定資産合計	15,694,847	14,524,517
無形固定資産		
その他	525,860	439,470
無形固定資産合計	525,860	439,470
投資その他の資産		
投資有価証券	1,578,057	1,586,894
繰延税金資産	366,797	356,329
退職給付に係る資産	60,683	52,673
その他	273,528	278,839
貸倒引当金	△7,680	△4,920
投資その他の資産合計	2,271,386	2,269,816
固定資産合計	18,492,095	17,233,804
資産合計	34,861,765	33,954,818

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,491,260	4,500,035
短期借入金	1,746,485	1,737,694
未払法人税等	476,789	471,218
未払消費税等	131,739	86,545
役員賞与引当金	37,000	16,000
その他	1,413,922	1,236,462
流動負債合計	8,297,197	8,047,956
固定負債		
長期借入金	655,020	476,619
役員退職慰労引当金	92,370	75,210
PCB処理引当金	32,479	32,479
退職給付に係る負債	1,527,380	1,566,751
その他	296	296
固定負債合計	2,307,546	2,151,356
負債合計	10,604,743	10,199,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,000	2,365,000
資本剰余金	4,649,875	4,649,875
利益剰余金	14,496,209	15,239,264
自己株式	△9,074	△9,074
株主資本合計	21,502,009	22,245,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,627	160,693
為替換算調整勘定	1,112,177	102,424
退職給付に係る調整累計額	△191,929	△173,518
その他の包括利益累計額合計	1,044,874	89,599
非支配株主持分	1,710,136	1,420,839
純資産合計	24,257,021	23,755,504
負債純資産合計	34,861,765	33,954,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	13,946,050	12,799,819
売上原価	10,551,071	9,294,372
売上総利益	3,394,979	3,505,446
販売費及び一般管理費	2,268,532	2,169,276
営業利益	1,126,446	1,336,170
営業外収益		
受取利息	6,902	4,480
受取配当金	7,770	8,392
受取賃貸料	41,839	47,633
持分法による投資利益	24,283	32,791
その他	66,182	20,392
営業外収益合計	146,978	113,690
営業外費用		
支払利息	32,434	17,962
固定資産賃貸費用	24,049	22,706
為替差損	41,737	20,988
その他	29,606	22,415
営業外費用合計	127,827	84,072
経常利益	1,145,597	1,365,788
特別損失		
災害による損失	—	23,714
特別損失合計	—	23,714
税金等調整前四半期純利益	1,145,597	1,342,074
法人税等	362,590	447,804
四半期純利益	783,006	894,269
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,586	8,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	752,419	886,252

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	783,006	894,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,346	35,464
為替換算調整勘定	234,325	△1,280,145
退職給付に係る調整額	12,414	18,411
持分法適用会社に対する持分相当額	△12,225	602
その他の包括利益合計	191,168	△1,225,667
四半期包括利益	974,175	△331,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	894,580	△69,022
非支配株主に係る四半期包括利益	79,595	△262,374

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,145,597	1,342,074
減価償却費	575,706	560,889
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32,998	64,701
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24,900	△17,160
受取利息及び受取配当金	△14,673	△12,872
支払利息	32,434	17,962
為替差損益(△は益)	39,529	19,126
持分法による投資損益(△は益)	△24,283	△32,791
関係会社株式売却損益(△は益)	—	1,232
売上債権の増減額(△は増加)	859,703	546,112
たな卸資産の増減額(△は増加)	△139,380	△142,774
仕入債務の増減額(△は減少)	△141,887	81,940
未払消費税等の増減額(△は減少)	△148,577	△45,193
未収入金の増減額(△は増加)	26,694	9,343
災害による損失	—	23,714
その他	△53,820	△92,266
小計	2,165,142	2,324,039
利息及び配当金の受取額	25,906	25,769
利息の支払額	△44,334	△18,465
開業費の支払額	△34,746	—
災害による損失の支払額	—	△498
法人税等の還付額	29,324	—
法人税等の支払額	△559,770	△472,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,581,520	1,858,780
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△791,994	△343,146
無形固定資産の取得による支出	△744	△4,691
投資有価証券の取得による支出	△5,104	△5,513
関係会社株式の売却による収入	—	67,602
敷金及び保証金の差入による支出	△1,122	△609
敷金及び保証金の回収による収入	1,001	2,264
その他	△805	△8,367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△798,769	△292,461

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△502,846	△136,947
長期借入れによる収入	—	99,143
長期借入金の返済による支出	△118,686	△20,000
配当金の支払額	△142,567	△142,886
非支配株主への配当金の支払額	△11,285	△26,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	△775,385	△227,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	42,872	△141,085
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	50,238	1,197,620
現金及び現金同等物の期首残高	2,336,712	3,178,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,386,951	4,375,687

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。